保存版

棚付机Ⓣ

取扱説明書〔保証書付〕

ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しい使いかたで末永くお使いください。

この度はイトーキ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この説明書は、製品の使い方と、ご使用上の注意を記載しています。お読みになったあとも、大切に保存し、わからない時にご再読ください。

商品のお問い合わせは、お買い上げの販売店までご連絡ください。

株式会社イトーキ　〒536-0002　大阪市城東区今福東1丁目4-12

■お客様相談センター　0120-164177
■東日本地区　〒169-0074　東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー19階　☎03(6908)8050(代)
■西日本地区　〒536-0002　大阪市城東区今福東1丁目4-12　☎06(6935)2009(代)

イトーキ 学習机保証書

品　名		
品　番		
おところ		
おなまえ		
お買い上げ日	年　月　日	
保証期間	1年	外観・表面仕上（塗装及び樹脂部分の変・褪色、クロスの摩耗）
	2年	機構部・可動部（引出し、スライド機構、錠前、昇降機構の故障）
	3年	構造体（強度・構造体に関わる破損）

販売店　㊞

〈ご注意〉
保証書に所定事項の記入がない場合は本証とともに、お買い求め先の領収書を保存してください。
サービスマンがご訪問の節は必ずご提示ください。

〈保証規定〉

1. 保証期間内に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。修理はお買い上げの販売店に本保証書を添えてご依頼ください。
2. 次のような場合には保証期間内でも有償修理になります。
   ㋑お買い上げ後の輸送・移動・落下等による故障
   ㋺取扱説明書の注意事項をお守りいただけなかった原因による故障
   ㋩消耗部品の消耗又はそれによる故障
   ㋥火災・塩害・異常電圧・地震・雷・風水害・その他天災地変などによる故障
   ㋭お買い求めの販売店もしくは当社以外での修理改造等による故障
   ㋬離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行う場合の出張に要する実費
   ㋣追加部品（鍵・棚・フック・引き手等）又は、お客様破損による追加部材等のご要望は有償となります。
   ㋠保証書の提示がない場合
3. 運賃等の諸費用はお客様にご負担していただく場合があります。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
6. ご使用前に取扱説明書をご一読ください。
7. 補修用部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年間です。

株式会社イトーキ
〒536-0002
大阪市城東区今福東1丁目4-12

1 ⚠安全上の注意事項

製品を安全に正しくお使いいただくため、必ずお守りください。

注意の種類の規定: JOIFA（社団法人日本オフィス家具協会）の規定に基づいて危険や損害の程度を次の表示で区分しています。
⚠警告　取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
⚠注意　取り扱いを誤ると傷害を負う可能性が想定されるか、拡大物的損害のみの発生が想定される場合

×　⚠警告　紙や布などを灯具の上においたり、かぶせたり、ランプに密着させないでください。感電や火災の原因になります。

○　⚠警告　旅行等で長期間ご使用にならない時は、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。火災の原因になります。

×　⚠警告　火のそばで使わないでください。火災の原因になります。

×　⚠警告　ワゴンの上にのらないでください。ワゴンの破損や転倒の原因になり、ケガをすることがあります。

×　⚠警告　小さな部品の取扱いにご注意ください。お子様が飲み込むことがあります。

×　⚠警告　ボルトやネジがゆるんだままで使わないでください。商品の破損の原因になりケガをすることがあります。

×　⚠警告　灯具の改造や分解はしないでください。感電や火災の原因になります。

×　⚠注意　点灯時および消灯直後は LED・ランプ・セード等には触れないでください。火傷の原因になります。

×　⚠注意　ワゴンに物をのせたまま移動させないでください。ワゴンの破損や転倒の原因になり、ケガをすることがあります。

×　⚠注意　机の移動は1人でしないでください。机の破損の原因になり、ケガをすることがあります。

×　⚠注意　必ず2人で組み立ててください。商品の破損の原因になり、ケガをすることがあります。

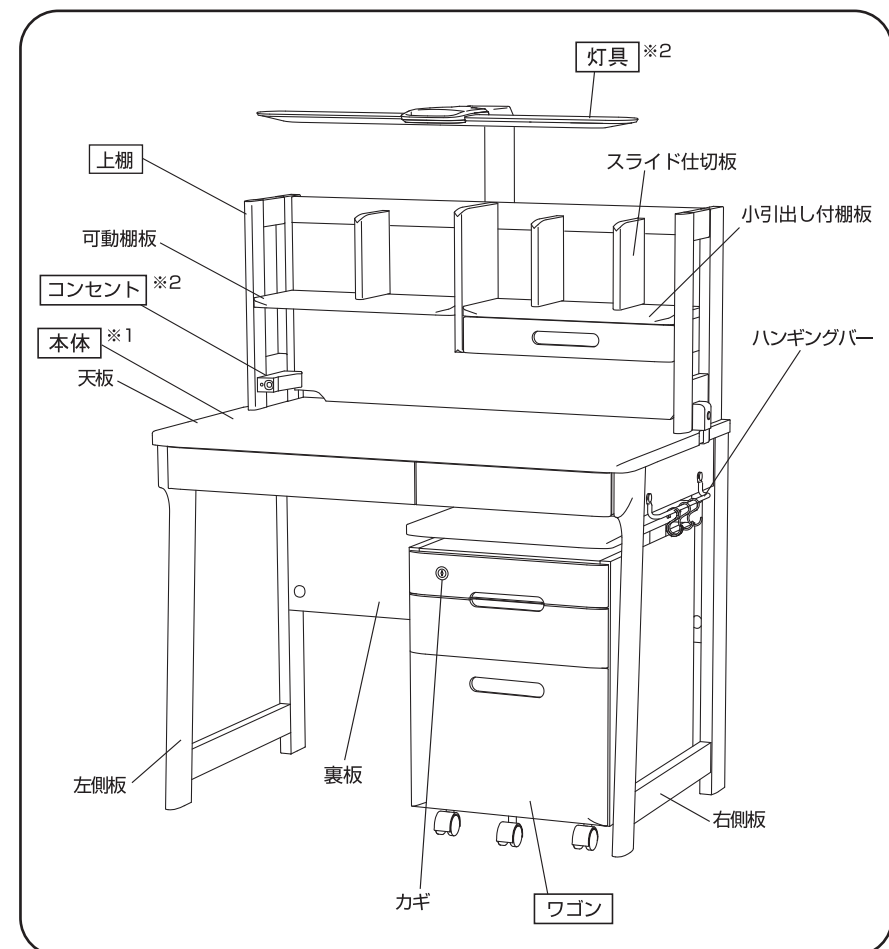
○　⚠警告　廃棄するときは、許可を受けた業者か各自治体が実施している廃品回収を利用してください。塩化ビニールや樹脂製品を燃やすと有毒ガスが発生する恐れがあります。

×　⚠注意　可動部のすきまに指を入れないでください。はさんでケガをすることがあります。

×　⚠注意　天板や引出しの上にのらないでください。商品の破損や転倒の原因になり、ケガをすることがあります。

×　⚠注意　複数の引出しを同時に引き出さないでください。ワゴンの転倒の原因になり、ケガをすることがあります。

2 各部の名称

※1：展示品とお届け品では多少木目柄や色が異なる場合があります。
※2：灯具・コンセントの詳細に関しましては、灯具に同梱されております取扱説明書をご参照ください。

3 組み立てについて

⚠警告 ボルトやネジがゆるんだままで使わないでください。商品の破損の原因になり、ケガをすることがあります。

⚠注意 必ず2人で組み立ててください。商品の破損の原因になり、ケガをすることがあります。

⚠注意 必ずプラスドライバーを使用して下さい。マイナスドライバーを使用するとピンが折れてケガをすることがあります。

本体の組み立てかた

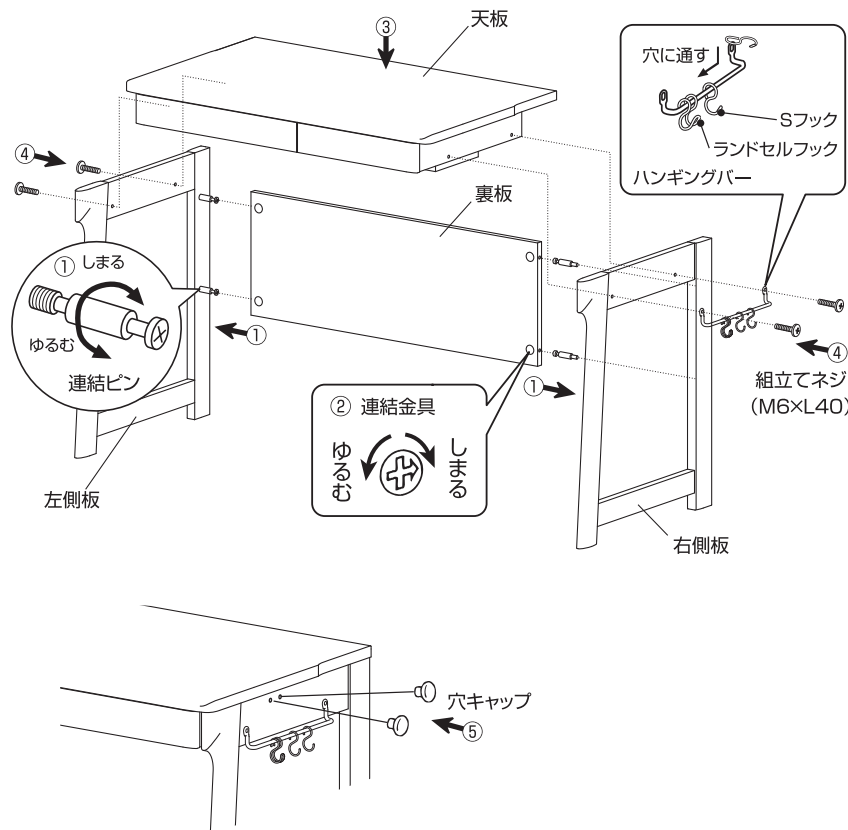
	本体天板に同梱			側板に同梱
部品名	組立てネジ(M6×L40)	連結ピン	ハンギングバー	穴キャップ
数量	4	4	1セット	4

① 左右側板に連結ピン(各2ヶ)を取り付けてください。

② 裏板の連結金具が外側を向いていることを確認してから、左右側板の連結ピンを各連結金具に差し込み、各連結金具をプラスドライバーで締め込んでください。

③ ②の枠体の上に天板をのせます

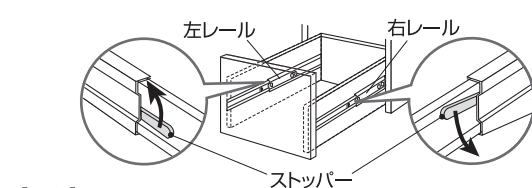
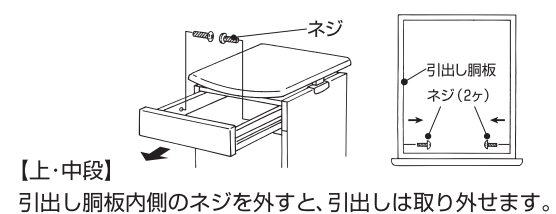
④ 左右側板の外側から組立てネジ(各2ヶ/M6×L40)で天板を組み付けます。この時、ハンギングバーを同時に取り付けてください。
ハンギングバーは左右側板のどちらかを選んで取り付けることができます。

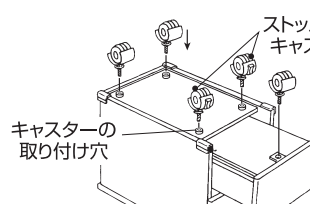
⑤ 左右側板に穴キャップ(各2ヶ)を取り付けてください。
※この穴はコンセントボックスを本体に取り付けるための穴になります。

錠前の使いかた

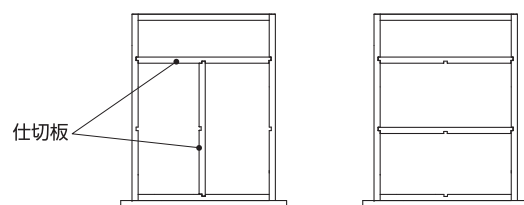
カギを差し込んで時計周りに180°回すと施錠され、反時計回りに回すと開錠されます。

ワゴンキャスターの取り付けかた

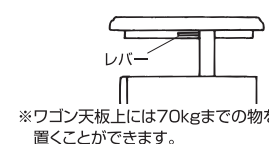
ワゴン底板と下段引出しのキャスター取り付け穴にキャスターの支軸を強く押し込んでください。
※ストッパー付キャスター(2ヶ)は図の様にワゴン底板の前側に取り付けてください。

引出しの取り外しかた

【上・中段】
引出し胴板内側のネジを外すと、引出しは取り外せます。

【下段】
引出しをいっぱいまで引き出し、右レールのストッパーを下方向に倒し、左レールのストッパーを上方向に倒して引出しを引き抜いてください。
(本体引出しも、同様に取り外すことができます)
※引出しが固い場合には、全ての引出しを一度最後まで引き出してからご使用ください。引出しがスムーズに動くようになる場合があります。

ワゴン下段の仕切板について

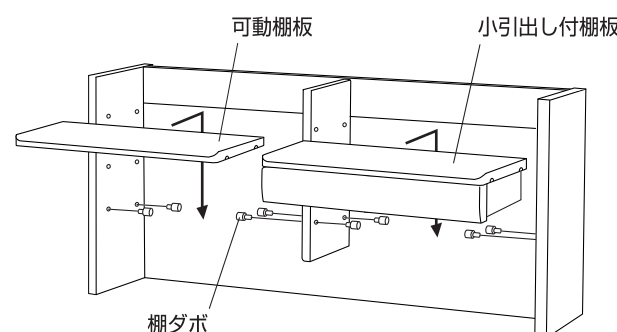
ワゴンの下段引出しは、仕切板(2ヶ)を付け替えて下図のように区分けできます。

ワゴン天板高さの調節のしかた

※天板高さが調節できない機種もあります。

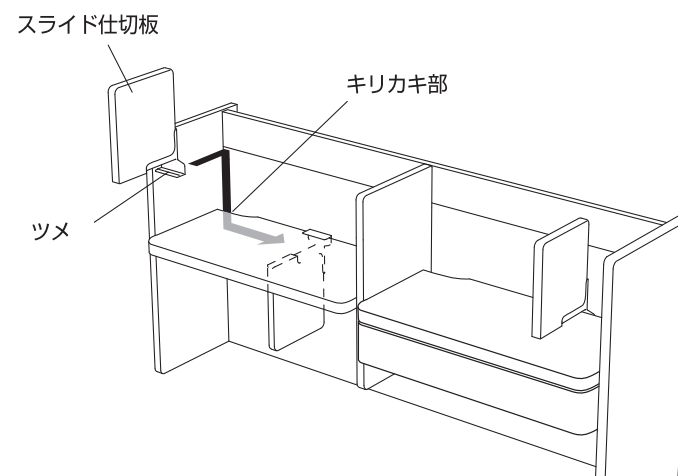
天板をお好みの高さに調節して補助天板として使用できます。
【天板を上げる時】
両手で天板を持ってゆっくりと上げてください。
【天板を下げる時】
両端のレバーを押し上げるとロックが解除され、下げる事ができます。天板を少し持ち上げるようにしてから、ゆっくりと下げてください。レバーから手を離すと再びロックがかかり、天板高さは固定されます。

※ワゴン天板上には70kgまでの物を置くことができます。

棚板の取り付けかた

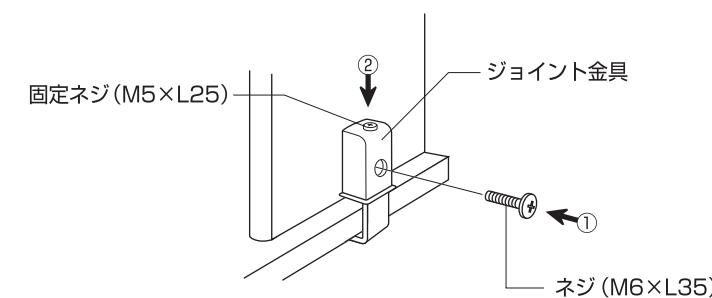
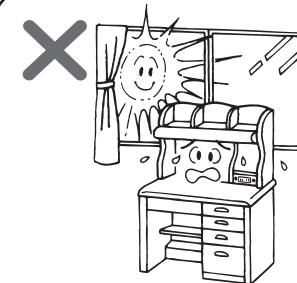
① 棚ダボ(4ヶ)を任意の高さのダボ穴に取り付けてください。

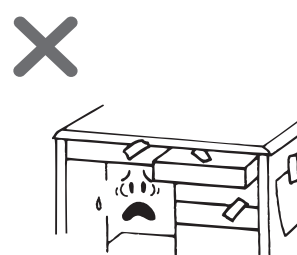
② 棚板を棚ダボの上にのせてください。

スライド仕切板の取り付けかた

① 棚の左右にあるキリカキ部にスライド仕切板のツメを差し込んでください。

② そのままゆっくりと横方向にスライドさせてお好みの位置でご使用ください。

上棚の取り付けかた

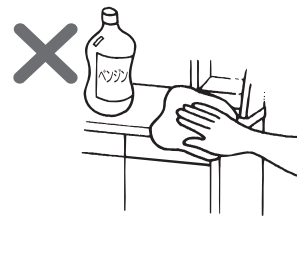
① デスク天板に上棚をのせて、上棚側板のメネジとジョイント金具の穴を合わせて、ネジ(M6×L35)で締め込んでください。

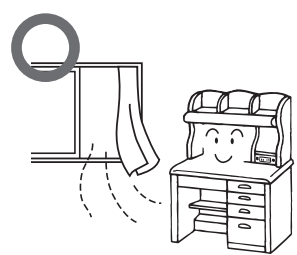
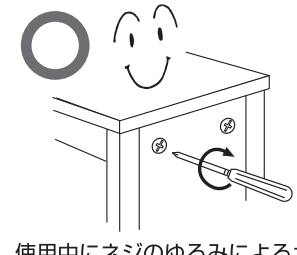
② 固定ネジ(M5×L25)をしっかりと締め込んでください。

4 ご使用上の注意

直射日光があたる場所でのご使用はさけてください。変形・変色の原因になります。

天板にヤカンや熱いものをのせないでください。白化や変色の原因になります。

シール・セロテープ等を貼りつけないでください。表面がはがれることがあります。

水平に設置してください。引出しが固くなったり、ひずみの原因となります。

殺虫剤等を吹きつけないでください。変色・変質の原因になります。

フローリングや畳の上でご使用になる場合はカーペット等を敷いてください。床や畳等に傷がつくことがあります。

お手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。シンナー、ベンジンや化学ぞうきん等は使用しないでください。変色・変質の原因になります。

湿気の多い場所には設置しないでください。カビ発生の原因になります。

居室の換気はこまめに行ってください。シックハウス症の原因になることがあります。

使用中にネジのゆるみによるガタツキが生じたときは、増し締めをしていただくことが長持ちの秘訣です。早めの増し締めをお願いします。